番 号 B 8

— 7 —				
活 動 名 称 (40字以内)	スリランカでSDGsフィールドワーク体験 ″SDGs Fieldwork experience in Sri Lanka″			
団 体 名 等	東京大学スリランカ同窓会 会長 Indika Palihakkara (ルフナ大学) (協力) 農学生命科学研究科農業・資源経済学専攻 教授 木南章 (協力) TSCP(東大サステナブルキャンパスプロジェクト) 学生委員会			
活 動 区 分	□ ボランティアなどの社会貢献活動■ 国際交流体験活動□ 就労体験活動□ 農林水産業・地域体験活動■ フィールドワーク体験活動□ 研究室体験活動	選考方法	□ 先着順■ 書類審査□ 面接	人
参加資格等	学部学生			
活動期間	8月下旬 ~ 9月上旬 8日程度 日/週/ヶ月 間	主な活動場所	スリランカ(コロンボ、マー 学、 ウダワラウェ国立公園	』、キャンディ)
目 的	国連のSDGs (Sustainable Development Goals)の取り組みと課題について、スリランカでのフィールドワーク体験を通して学ぶ。SDGsの項目の中でも、野生動物・固有種を含む生物多様性の保全、紅茶・パーム油・稲など作物生産の持続可能なあり方、水や防災、自然資源を生かしたエコツーリズムを中心に取り上げる。研究者である卒業生や現地学生との交流・家庭訪問を通してスリランカ社会についての理解を深める。またスリランカでの体験を通して、日本のSDGsの取り組みをみつめる機会とする。			
具体的な内容 (800字程度)	1)コロンボ地区 スリランカにおけるSDGs取り組み状況・課題を全体として理解 ・HARTI(政府農業研修機関) 熱帯農業についてのレクチャーと伝統農業集落体験 ・国連WFP(World Food Program)スリランカ事務所 ・JICAスリランカ事務所、日本大使館 2)マータラ地区 ・ルフナ大学(本学農学系協定校) 持続可能な作物生産、森林・海洋、自然資源、防災等を中心とした学びと交流環境建築としてジェフリー・バワの設計したキャンパス見学 ルフナ大学にいる本学卒業生との交流、家庭訪問 ・紅茶(ルフナティー)、パーム油のスタディツアー ・世界遺産であるゴール旧市街見学 3)ウダワラウェ国立公園 ・野生の象が多数生息 野生動物の保護とエコツーリズム 4)キャンディ(シンハラ王朝の古都、世界遺産) ・ペラデニヤ大学、ペラデニヤ植物園、仏歯寺 農学生命科学研究科農業・資源経済学専攻木南教授による事前学習			
備 考	A型肝炎、破傷風の予防接種を推奨する。			
参加するための 費用 [※]	内 訳(1名当たり) 交通費 30,000 円 宿泊費 30,000 円 (食費) 20,000 円 (その他) 20,000 円 計 100,000 円	現地までの	記事項は以下に記載 渡航費用は含まない -ルド調査現地ガイド費 70,000	円
ウェブサイト等	HARTI http://www.harti.gov.lk/index.php/en/ ルフナ大学 University of Ruhuna http://www.ruh.ac.lk/ ゴール旧市街世界遺産 https://whc.unesco.org/en/list/451 ルフナ紅茶 http://www.pureceylontea.com/index.php/ruhuna ウダワラウェ国立公園 https://udawalawe-national-park.ww.lk/ ペラデニヤ大学 http://www.pdn.ac.lk/academics/academics.php ペラデニア植物園 https://en.wikipedia.org/wiki/Royal_Botanical_Gardens,_Peradeniya WFPスリランカ https://www1.wfp.org/countries/sri-lanka 東京大学SDGs https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/fsi/ja/index.html 国連SDGs http://www.un.org/sustainabledevelopment/sustainable-development-goals/			